

集会参加者 78名 アンケート提出 27名

●この集會をどこでお知りになりましたか？

- 1、放送を語る会や、協賛団体からの連絡 14
- 2、友人、知人からの紹介 5
- 3、インターネット、各種メーリングリストなどの情報 6
- 4、新聞、雑誌からの情報 2
- 5、その他 ()

● 本日の集會の内容についてのご感想、ご意見

- ・ わかりやすくてよかったです
- ・ 具体的で素晴らしいお話でした。勉強になりました
- ・ 過去の番組の具体例が豊富で参考になった
- ・ いろいろのことを知識として受け入れることができました
- ・ マスメディアが企業に買収されていたというのは大変なことだと思います。原発の次に明らかになる問題は何になるのでしょうか？
- ・ 大切なことを何回も繰り返してくれるのでメモをとれ、よく判りました。「プルトニウム大国・日本」の関係者のお話も伺いたいです
- ・ 日テレOBの素晴らしい方の深みのあるお話でした。いずれ何かの記事にしたいと思います（放送芸能担当記者）
- ・ 知らない放送内容をたくさんご紹介いただき大変ありがとうございました。民放の中でも原発に関してもさまざまな上映のための闘いがあったことを知りました。CMの威力は大変なものですが何とかしたいものですね
- ・ 国民、一般市民に正確な情報を伝えることとっても大切ですね。私たちも気がついたらすぐテレビ局などに連絡したり行動していかななくてはと思います。が、実行が難しいです。「慰安婦」問題のNHK番組改変問題では本気でやりましたが引き続き情報発信よろしく願います。有難うございました
- ・ 民放と電力会社の関係がよく判りました。オドシ、嫌がらせ、懐柔を乗り越える番組制作者がいることもわかり、連帯できたらと思いました。NHK 原発番組は比較的視聴できるが、民放、特に地方局のは視られないので何とか視られるようにするにはどうすればよいのでしょうか？
- ・ 予想していた内容とはいえ参考になりました。権利意識をもう少し高め、当事者意識を持って声を上げる重要さを感じました
- ・ 制作現場の苦勞、大変さがよく判った。良い番組に対しては局に賞賛の言葉をすぐ送ることを私たちはしなければならぬと思った。加藤氏の危機感、必死さはよく判ったが、もう一本ぐらい番組を見せてほしかった

- テレビの実態が、いろんなところから聞いていたような話ではあるが、まとめて話されてよかった。テレビというメディアが「CM付きブルドーザー」であることが認識したから少しでも良い方向に持ってゆく必要があると思った。ただし話の中で伝聞が多いのが気になった
- 面白かった。放送を語る会の「～関連番組」資料も参考になります。反原発の方が、放送界の中で貴重な闘いをしているのだなと思いました。その自信のある作品をもっと広めることを私たちも考えないといけないと思いました。U-stream、Utube に流すとか（無理ですかね）
- 民放の原発関連番組が批判的だと、CMを引き上げて恫喝する事実にはびっくりした。原発PRだと、饗応したり。内容をチェックしたり、介入している事実にも驚きました。ではNHKも原発取材で同じようなケースがあるのではと想像します。制約の中で民放が良心的な番組制作に努力していることは素晴らしいと思いました
- 「プルトニウム元年Ⅱ」を見て、プルトニウムがどんな風に輸送されてきたか初めて知った。輸送船の会社が存在しなかったり、政府が無理やりプルトニウムを持ってきたような背景を、今、もっと多く知られてもいいと思った
- 広島テレビの「プルトニウム元年」を見て、処分を受けるかもしれない中で当時にこの番組を制作した制作各グループに敬意を持つ。と同時に今ならもっと多くの人たちが関心と共感を持ってみると思われるので、放送局が放送しないにしても、何らかの方法で一般の人が見る機会を設けることができないものかと思う
- 「プルトニウム元年」初めて見ました。当時の反対運動を思い出しました。弁護士の方のイギリス調査の場面は、今ここで起きていること、もっと作品から学ぶべきだったと思いました。あの方たちは日本での反原発の闘いの多くの裁判に加わっているのでしょうか、そこが知りたかったです。映像の力はやはり大きい。福島の大災害から、今、どんな作品が3.11に出てくるのか期待と心配半々です。どうもありがとうございます。*NHKの3.11に関する素晴らしい作品（「汚染マップ」etc）と同時にニュースの政府発表通りのギャップにいつも戸惑い、どうしたら視聴者としていいのか悩んでいます
- ドキュメントのあかつき丸の映像を見たとき、なぜ秘密にする必要があるのかと思った。麻薬（覚せい剤）を運ぶわけでもないから秘密にする必要性はないと思う
- 3.11後はメディアの姿勢は変わったのか？NHKBSドキュメンタリーなどをふくめれば、反原発の番組はあると思う。ただし、総合の中心的时间には放送されませんね
- 「11時からの女」と家族から言われるほど夜半にいい番組があるんですね。教科書・副読本が3.11以降にもつくられ、「原発神話」の復活を「たくみ」に仕組んでいる権力側に対する番組スタッフの放映への取り組みに心より

エールを送ります。茶髪の中3の子が「先生、メディアのいうことは信用しないよ」と見抜いているんです。「たま〜にいいテレビがあるよ」というと「××」あとから年賀状でその努力を認めていました。ガンバッテイコウ！！共に

- 定期的に関く、情報を出し続ける闘いを。日本母親大会として、4, 5年続けてNHKなどメディアと秋に激励の話し合いを(半日ぐらい)重ねています。効果はどうか？(実父も実妹も、共同通信社・TBSの社員でした)
- 加藤さんのお話の趣旨は納得しましたが、話に繰り返しがあまりに多かったのはチョット残念です。今回初めて参加しました。今後も機会があればまた参加したいと思います
- 初めて参加させていただきました。繰り返しの話があり、話の核心に迫りきれていない。放送界全体の問題としてもっと迫ってほしい。安全・安心と言い続けていたところを放送していたのだから、業界の反省も含めてもっと深く迫ってほしい。有難うございました
- 講話の構成がまとまっていない。話の仕方が流れがない。同じことを繰り返す。資料と講話のマッチングが悪い。事例をあげる際にはその資料を付すべき。期待した話が聞けなかった。度々同じことを話し、ドウドウめぐりである。論点が定まらず議論の方向が不明確。反権力的ドキュメンタリーに国やスポンサーから様々な圧力が下りてくるのは当然のことである。NHKに国、民放にスポンサー。問題はそれに対し如何様に対応して民衆のために良い番組を作ってゆく武器を整えておくかであろう
- 加藤氏は事実関係を詳細にご存知だろうが、話の中に『当時』という語が乱用され、こちらに事実関係や時間的前後が伝わらない。『当時』とは何時なのかが大事だと思うゆえの苦言。
- 番組を「推進」と「反原発」の二元論で語ってしまうのは多くの現場感覚や実態から遠ざかるのではないかと思われた。特にスポンサーのいる民間放送を語るのに二元論で語るのは不適切ではないか？「東電の圧力」を「類推」「推測」「伝聞」「一般論」で語る例が多すぎる気がした。“東電は悪だから”という前提で語ることは簡単ですが、今知りたい“リアル”からは遠い気がしました。基本データが少ない気がしました。折角の大切なテーマなので期待してきたのですが(元ディレクター)
- スピーカーが講演に慣れていないのなら十分準備してから登壇してほしい。冗長で繰り返しが多すぎだったと思う。司会かコーディネーターを介して話を引き出す対応や討論形式がよかったのでは？内容については、19年前の番組を見ての批評会に終始して、現場経験者ならではの実体験や見方を知ることができなかったのは残念。19年前と3.11以後のTV報道の比較・批評でなければ、現在の日本で集会を行う意義がないのではないか。原発推進派からの介入・圧力・懐柔の例についても、伝聞や推測、一般論が多く、新し

い情報はなかった。実体験なり数値的裏付けなりが欲しかった

● 今後の「放送を語る会」の企画や運営についてのご要望、ご提案

- ・ ラジオについて
- ・ また七沢さんをお呼びください
- ・ すでに企画済みなのかもしれませんが NHK の従軍慰安婦問題関連をとりあげてほしいと思います
- ・ 一昨年の永田・長井さんらの集会以来です。いつも有意義な企画をされていますが、遠くて参加があまりできないのが残念です（京都から参加された方）
- ・ 是非よい番組、問題の番組を見せて欲しい。学習会シリーズとして多分難しいと思うが現役の人たちの話を聞く機会も欲しい
- ・ 2012. 3. 11 前後の番組視聴、録画を広く呼び掛けて欲しい
- ・ 番組制作者のシリーズを続けてください
- ・ 今、ママネットの若いお母さん達を中心に原発による放射能汚染問題の学習会や集会などが開かれています。横浜で開催された「放射能から子どもを守る会」の集会で話す予定だった長野の市長さんが暴力的なおどしの電話などで講演を中止したようです。東京大田区、神奈川のガレキ処理による放射能汚染について知りたいです